

世界遺産富士山の 後世継承に向けて

特集

静岡県富士山世界遺産センター

- ◎開館までのあゆみ
- ◎開館記念展

今夏の富士登山者数と保全協力金の状況

世界遺産ニュースレター NEWS Letter

vol.35

発行 / 静岡県富士山世界遺産センター

〒418-0067 富士宮市宮町5-12 TEL.0544-21-3776 FAX.0544-23-6800
 e-mail mttuji-whc@pref.shizuoka.jp
 https://mttjui-whc.jp

vol.
35
 December, 2017

今夏の富士山登山者数と保全協力金の状況

今夏の富士山八合目における登山者数は、約28万5千人で昨年の夏期登山者数と比較して、約4万人増加しました。

うち、静岡県側の登山者数は、約11万2千人と昨年よりも約1万8千人増加しています。

富士山保全協力金については、54,087人の方から52,047,583円の御協力をいただくことができました。

昨年との比較では、協力者数で5,852人の増額では、5,522,014円の増となっておりますが、協力者数の増加が、登山者の伸びに追いつかなかつたため、協力率は、3.3ポイント減の48.2%となりました。

来年の夏には、より多くの方に御協力いただけるよう、協力金制度の周知と富士山を保全する意識の醸成を図りたいと思います。

皆様からいただいた協力金は、山小屋バイオートイレの改修工事、須走口登山道における屋外排泄防止の巡視活動といった富士山の環境保全や、富士宮ルート八合目の衛生センター（診療所）の運営期間の延長、山頂で混雑時の誘導を行う安全誘導員の配置などの登山者の安全対策に活用させていただきます。

御協力をいただいた皆様には、この紙面を借りてお礼申し上げますとともに、来夏も富士登山をされる方には、引き続き、富士山保全協力金に御協力くださるようお願いいたします。

開山期間中の富士山登山者数

※環境省の八合目赤外線カウンターによる計測

区分	H28	H29	増減	前年比率
静岡県計	93,706人	112,205人	18,499人	119.7%
富士宮ルート	58,090人	70,319人	12,229人	121.1%
御殿場ルート	15,339人	18,411人	3,072人	120.0%
須走ルート	20,277人	23,475人	3,198人	115.8%
山梨県吉田ルート	151,969人	172,657人	20,688人	113.6%
計	245,675人	284,862人	39,187人	116.0%

(静岡県側は、7月10日～9月10日、山梨県側は7月1日～9月10日)

静岡県の富士山保全協力金協力率 (7月10日～9月10日)

	H28	H29	差
協力金額	46,525,569円	52,047,583円	5,522,014円
協力者数 (A)	48,235人	54,087人	5,852人
登山者数 (B)	93,706人	112,205人	18,499人
協力率 (C) = (A/B)	51.5%	48.2%	▲3.3ポイント

富士山のゴミ持ち帰り

この夏、特にお盆の時期ですが、登山者の中にゴミを持ち帰らない方がいました。大変残念なことです。先ほど紹介した協力金の使途で「須走口登山道における屋外排泄防止の巡視活動」がありますが、その活動中に多くのゴミを回収しています。

一人ひとりの登山者が、ゴミを持ち帰ることで美しい富士山を守っていきましょう。



須走ルートで回収されたゴミ等の一部



須走ルートをパトロールする巡視員

開館までの あゆみ



開館のあいさつ

日本の誇りであり、日本人の心のふるさとである富士山。その富士山が世界文化遺産に登録されてから4年半がたちました。そして今、待ち望まれた「静岡県富士山世界遺産センター」が、ここ富士宮市の富士山本宮浅間大社の鳥居に接して建ちあがりました。

センターのフォルムは、富士ヒノキを繊細に組み上げた壁面をもち、逆円錐形の姿が池に映ると富士山となる、又とない華麗さです。館内の展示も、富士山の魅力と神秘さを伝えるには十分な内容です。

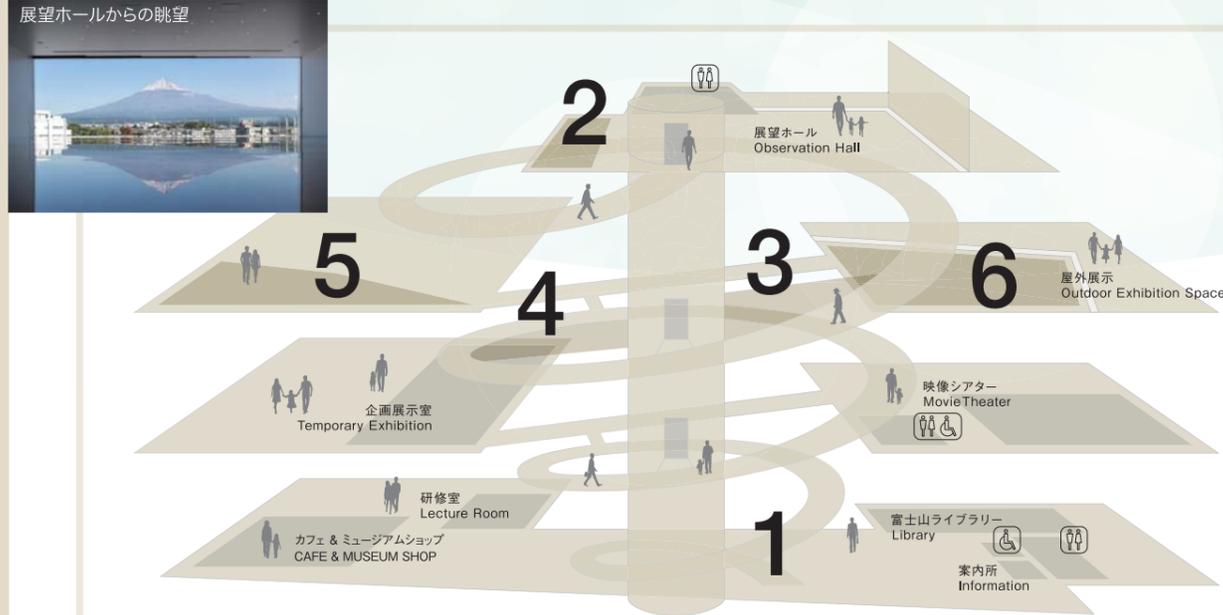
富士山についてさらに深く極めるとともに、その美と伝統を伝え、広く国の内外に知らせ、その秀麗な姿と比類のない文化的価値とを、永く守り続けることがこのセンターの使命です。

多くの人々に愛され、感動を与え続けるためのセンター活動が、これから始まります。

静岡県富士山世界遺産センター 館長 遠山 敦子



登拝する山



1 登拝する山

タイムラプスの映像を見ながら全長193mのらせんスロープを上ることで、静岡県の特徴である海からの富士登山を疑似体験できます。

2 荒ぶる山

広大な太平洋を囲む「火の輪」、環太平洋火山帯の一角で産声を上げた富士山は、若く活発な火山です。この荒ぶる山と人類との出会いは、およそ3万5千年前。このゾーンでは、富士山と人との出会いの物語を紹介します。

3 聖なる山

富士山の美しい景色や豊かな自然の恵みが長い歴史を通して様々な信仰を生み出し、今もわれわれ日本人の心のよりどころとなっています。このゾーンでは、富士山への信仰をキーワードに、富士山のもつ普遍的な価値を紹介します。

4 美しい山

聖なる火山—富士。白雪をまとい優雅に稜線を垂下させるその美しい姿は、古来詩歌に頌(た)えられるとともに、絵画作品としても伝えられてきました。このゾーンでは、美術や文学に表された富士山について、紹介します。

5 育む山

富士山は、駿河湾(するがわん)の海底から測ると、6,000mを超える高山です。山頂の雪や雨は地面に染み込み、海底からも湧き出し、この水がさまざまな生命を支えています。このゾーンでは、高山帯から駿河湾までの生態系を紹介します。

6 受け継ぐ山

富士山は、昔も今も人の心に根付き、親しまれる一方で、活動を続ける恐ろしい火山でもあります。このゾーンでは、活火山、心に根付く山、登山する山など、富士山のさまざまな顔を見ながら、人と富士山の未来を考えていきます。

※常設展示は番号の順番に沿って御覧いただくのが標準的なルートになります。※展示解説は一部を除き日英中(簡体・繁体)韓対応。

特集 静岡県富士山世界遺産センター

世界文化遺産「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」を後世に守り伝えていくための拠点として、「静岡県富士山世界遺産センター」が12月23日開館します。「逆さ富士」とも称される逆円錐形の建物とその周囲を覆う木格子(県産材「富士ヒノキ」使用により森林プロジェクト認証取得)が目目を引くデザインは、世界的な建築家の坂茂(ばん・しげる)氏によるものです。「富士の水の循環と反映」をテーマに建物前面に設置された水盤には富士の湧水を引き、その水面に富士山の形をした逆円錐型建物を映し出します。

展示棟の内部に足を踏み入れると193mに及ぶらせん状のスロープが続きます。そこには登山者目線の映像が映し出され、訪れた方が楽しみながら富士山頂を目指す擬似登山ができます。そして、スロープを上りきった先の展望ホールからは裾野まで広がる雄大な富士山の姿を仰ぎ見ることができます。

富士山の美しい姿を堪能した後は、「信仰の対象と芸術の源泉」を守り伝えるための5つの常設展示を御覧いただけます。最新のデジタル機器を用いて、富士山の様々な側面を楽しく学べます。

この他、映像シアターでは、265インチの4K画質により迫力のある富士山を映し出します。また、企画展示室においては、富士山を題材とした絵画等の作品を御覧いただくことができます。あわせて、富

土山に関する書籍を揃えた富士山ライブラリー、ヒノキの香りに触れながらおくつろぎいただけるカフェ・ショップを備えています。

開館記念展

「富士山の曼荼羅(まんだら)～参詣曼荼羅(さんけいまんだら)にみる富士山信仰の世界～」
会期: 12月23日(土・祝)～2月12日(月・振休)

【展示会概要】

皆さんは、参詣曼荼羅と呼び習わされている一群の宗教画をご存知でしょうか。参詣曼荼羅とは、主として16～17世紀にかけて、霊場(寺院・神社)への参詣を目的として制作された宗教的な案内絵図のことです。17世紀以降につくられた作品を含めて、全国40箇所以上の寺社におよそ150点ほどが現存しています。ただし、参詣曼荼羅は学術的に付けられた名称で、当時実際に呼ばれていた名称ではありません。静岡県富士山世界遺産センターでは、富士山を対象に描かれた富士参詣曼荼羅6点の高解像度の複製を製作いたしました。今回の開館記念展では、その6点の作品を一堂に展示し紹介いたします。

【紹介予定作品】

- ①富士曼荼羅(富士山本宮浅間大社所蔵、国指定重要文化財指定本原寸複製) 原本は絹本着色、縦186.6×横118.2cm
- ②富士浅間曼荼羅(富士山本宮浅間大社所蔵、静岡県有形文化財指定本原寸複製) 原本は絹本着色、縦91.5×横67.3cm
- ③富士参詣曼荼羅(静岡県立美術館所蔵本原寸複製) 原本は紙本淡彩、縦131×横67cm
- ④富士参詣曼荼羅(富士山本宮浅間大社所蔵本原寸複製) 原本は紙本淡彩、縦126×横103.2cm
- ⑤富士参詣曼荼羅(矢田原第三農家組合所蔵原寸複製) 原本は紙本着色、縦128.5×横76.8cm
- ⑥富士参詣曼荼羅(天満山松栄寺所蔵原寸複製) 原本は紙本着色、縦178.6×横144.6cm



美しい山



静岡県富士山世界遺産センター

富士宮市宮町5-12 TEL.0544-21-3776 <https://mtfuji-whc.jp>

開館時間/9:00～17:00(7、8月は18:00)※最終入館は閉館30分前

休館日/毎月第三火曜日、施設点検日

観覧料/一般300円、団体200円(1階は無料)、大学生以下、高齢者、障害者減免あり